

令和7年度

宮城県公営企業会計決算の概要

【令和7年度事業実績】

企業局におきましては、地方公営企業の経営の基本原則である企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉の増進を達成すべく「健全経営」、「安心信頼の確保」、「安定供給の持続」を目指した企業経営に取り組んでおります。

しかしながら、水道用水供給事業、工業用水道事業及び流域下水道事業の水道3事業を取り巻く経営環境は、今後の急速な人口減少等に伴うサービス需要の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大等により、一層厳しさを増していくものと考えております。

- 水道3事業については、宮城県上工下水一体官民連携運営事業、いわゆる「みやぎ型管理運営方式」による事業運営や指定管理者制度による管理運営を着実に実施し、安全・安心な水の供給及び安定的な汚水の処理に努めました。
- 地域整備事業においては、仙台港国際ビジネスサポートセンター（愛称アクセル）や、仙台港周辺地域に保有する資産の有効な運用や活用のほか、仙台港周辺地域の賑わいの拡大に向け、周辺企業等と連携した取組を進めてまいりました。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

I 令和7年度宮城県水道用水供給事業決算概要について

1 令和7年度の事業概要

(1) 大崎広域水道事業	
① 対象市町村	10市町村
② 水源	漆沢ダム及び南川ダム
③ 計画給水量	1日最大120,000m ³
④ 給水実績	年間23,017,651m ³ (※) (実給水量22,962,960m ³)
⑤ 建設事業	小牛田枝線管路更新工事など

(2) 仙南・仙塩広域水道事業	
① 対象市町村	17市町
② 水源	七ヶ宿ダム
③ 計画給水量	1日最大553,300m ³
④ 給水実績	年間70,497,004m ³ (※) (実給水量70,212,599m ³)
⑤ 建設事業	薮川外伸縮可とう管補強工事など

(※)この水量を基に受水市町村から水道料金を徴収。
(実給水量が責任水量(契約水量の8割)を下回る市町村は責任水量を計上。)

2 令和7年度の決算概要

(1) 損益計算書

単位:百万円(税抜き)				
水道用水供給事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
1 営業収益	8,313	8,004	310	3.9
(1) 給水収益	7,827	7,879	△ 52	△ 0.7
(2) 受託工事収益	12	48	△ 35	△ 74.0
(3) 繰延運営権対価収益	23	23	0	0.0
(4) 運営権者更新投資収益	451	54	397	728.4
2 営業費用	9,502	9,155	346	3.8
(1) 原水及び浄水費	538	510	28	5.4
(2) 配水及び給水費	421	320	101	31.6
(3) 受託工事費	12	46	△ 35	△ 74.6
(4) 総係費	794	805	△ 11	△ 1.3
(5) 減価償却費	7,645	7,245	400	5.5
(6) 資産減耗費	92	229	△ 138	△ 60.1
A 営業損益(1-2)	△ 1,188	△ 1,152	△ 37	3.2
3 営業外収益	1,371	1,410	△ 39	△ 2.8
(1) 受取利息及び配当金	58	18	40	221.7
(2) 他会計補助金	5	1	4	493.3
(3) 国庫補助金	63	141	△ 78	△ 55.1
(4) 長期前受金戻入	1,229	1,221	9	0.7
(5) 雑収益	16	30	△ 14	△ 46.5
4 営業外費用	195	238	△ 43	△ 18.0
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	190	237	△ 47	△ 20.0
(2) 雑支出	5	1	5	601.9
B 営業外損益(3-4)	1,176	1,172	4	0.3
C 経常損益(A+B)	△ 12	21	△ 33	△ 160.1
5 特別利益	155	31	124	400.8
(1) その他特別利益	155	31	124	400.8
6 特別損失	157	419	△ 262	△ 62.5
(1) 固定資産売却損	0	106	△ 106	皆減
(2) 過年度損益修正損	0	285	△ 285	皆減
(3) その他特別損失	157	28	129	463.5
D 特別損益(5-6)	△ 2	△ 388	386	△ 99.4
E 当年度純損益(C+D)	△ 15	△ 367	353	△ 96.0
F 前年度繰越利益剰余(欠損)金	0	0	0	-
G その他未処分利益剰余金変動額	0	404	△ 404	皆減
H 当年度未処分利益剰余(欠損)金(E+F+G)	△ 15	37	△ 51	△ 140.0

(注)表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

(2) 資本的収支

単位: 百万円(税込み)				
水道用水供給事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
資本的収入	555	233	322	138.1
国庫補助金	116	0	116	皆増
出資金	439	106	333	315.6
固定資産売却代金	0	3	△ 3	皆減
他会計補助金	0	125	△ 125	皆減
資本的支出	4,046	3,690	355	9.6
建設改良費	1,913	1,207	706	58.5
企業債償還金	2,132	2,483	△ 351	△ 14.1
収支差引	△ 3,491	△ 3,458	△ 34	1.0

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(3) 貸借対照表

単位: 百万円(税抜き)			
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	166,414	固定負債	12,047
流動資産	30,357	流動負債	3,302
(うち現金預金)	(28,489)	繰延収益	33,744
		負債合計	49,093
		資本金	146,461
		剰余金	1,216
		資本合計	147,678
資産合計	196,771	負債・資本合計	196,771

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(4) キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円(税抜き)	
A 業務活動によるキャッシュ・フロー	5,766
B 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,345
C 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,986
D 資金増減額(A+B+C)	2,434
E 資金期首残高	26,055
F 資金期末残高(D+E)	28,489

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

3 企業債

単位: 百万円				
	令和6年度末 現在高	令和7年度増減高		令和7年度末 現在高
		借入額	償還額	
企業債	16,081	0	2,132	13,949

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

Ⅱ 令和7年度宮城県工業用水道事業決算概要について

1 令和7年度の事業概要

(1) 仙塩工業用水道事業	
① 主な給水区域	仙塩地域及び仙台港背後地
② 給水先	41事業所(令和8年3月末現在)
③ 水源	大倉ダム
④ 給水能力	1日最大100,000m ³
⑤ 契約水量合計	1日当たり28,530m ³
⑥ 建設事業	仙塩導水路改築工事など

(2) 仙台圏工業用水道事業	
① 主な給水区域	仙塩地域及び仙台港背後地
② 給水先	16事業所(令和8年3月末現在)
③ 水源	釜房ダム
④ 給水能力	1日最大100,000m ³
⑤ 契約水量合計	1日当たり46,450m ³
⑥ 建設事業	西中田五丁目伸縮可とう管補強工事など

(3) 仙台北部工業用水道事業	
① 主な給水区域	仙台北部中核工業団地及び大崎地域
② 給水先	15事業所(令和8年3月末現在)
③ 水源	漆沢ダム
④ 給水能力	1日最大58,500m ³
⑤ 契約水量合計	1日当たり18,930m ³
⑥ 建設事業	北杉ノ目伸縮可とう管補強工事など

2 令和7年度の決算概要

(1) 損益計算書

		単位:百万円(税抜き)	
工業用水道事業会計	R7	R6	対前年度増減額 対前年度比(%)
1 営業収益	1,036	1,020	16 1.6
(1) 給水収益	1,016	986	30 3.0
(2) 受託工事収益	5	27	△ 23 △ 83.3
(3) 繰延運営権対価収益	5	5	0 0.0
(4) 運営権者更新投資収益	10	0	9 2,415.3
(5) その他営業収益	2	2	0 3.3
2 営業費用	1,549	1,376	173 12.6
(1) 原水及び浄水費	209	228	△ 19 △ 8.2
(2) 配水及び給水費	174	212	△ 38 △ 17.9
(3) 受託工事費	5	25	△ 20 △ 81.6
(4) 総係費	116	109	7 6.2
(5) 減価償却費	811	799	12 1.5
(6) 資産減耗費	234	3	231 8,180.9
A 営業損益(1-2)	△ 513	△ 356	△ 157 44.0
3 営業外収益	358	302	56 18.5
(1) 受取利息及び配当金	9	3	6 177.0
(2) 他会計補助金	3	0	3 皆増
(3) 国庫補助金	48	0	48 皆増
(4) 長期前受金戻入	293	282	11 3.9
(5) 雑収益	5	17	△ 12 △ 70.9
4 営業外費用	20	10	10 100.4
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	11	10	2 19.8
(2) 雑支出	8	0	8 2,238.7
B 営業外損益(3-4)	338	292	46 15.7
C 経常損益(A+B)	△ 175	△ 64	△ 111 172.4
5 特別利益	0	1	△ 1 皆減
(1) 過年度損益修正益	0	1	△ 1 皆減
6 特別損失	0	4	△ 4 皆減
(1) 過年度損益修正損	0	4	△ 4 皆減
D 特別損益(5-6)	0	△ 3	3 皆減
E 当年度純損益(C+D)	△ 175	△ 67	△ 108 160.5
F 前年度繰越利益剰余(欠損)金	0	0	0 -
G その他未処分利益剰余金変動額	95	125	△ 29 △ 23.4
H 当年度未処分利益剰余(欠損)金(E+F+G)	△ 79	58	△ 137 △ 234.8

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

(2) 資本的収支

単位: 百万円(税込み)				
工業用水道事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
資本的収入	304	192	112	58.4
企業債	299	192	107	55.8
固定資産売却代金	0	0	0	皆増
他会計補助金	5	0	5	皆増
資本的支出	1,325	732	593	80.9
建設改良費	969	377	592	157.1
企業債償還金	139	139	0	0.3
他会計長期借入金償還金	217	217	0	0.0
収支差引	△ 1,021	△ 540	△ 481	89.0

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(3) 貸借対照表

単位: 百万円(税抜き)			
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	17,506	固定負債	4,708
流動資産	4,608	流動負債	869
(うち現金預金)	(4,514)	繰延収益	7,006
		負債合計	12,583
		資本金	7,534
		剰余金	1,997
		資本合計	9,531
資産合計	22,114	負債・資本合計	22,114

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(4) キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円(税抜き)	
A 業務活動によるキャッシュ・フロー	484
B 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 524
C 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 57
D 資金増減額(A+B+C)	△ 97
E 資金期首残高	4,611
F 資金期末残高(D+E)	4,514

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

3 企業債

単位: 百万円				
	令和6年度末 現在高	令和7年度増減高		令和7年度末 現在高
		借入額	償還額	
企業債	1,664	299	139	1,824

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

Ⅲ 令和7年度宮城県地域整備事業決算概要について

1 令和7年度の事業概要

○ 地域整備事業

- ・ 仙台港国際ビジネスサポートセンター（愛称アクセル）の建設計画の推進を契機として、平成9年度に新たに創設した。
- ・ 地域振興に資する施設の建設や活力ある県土づくりの核となる地域開発、所有資産の有効かつ効率的な運用等により、地域整備の促進と県土の均衡ある発展を図り、もって、県民の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(1) アクセル施設管理運営事業	
概 要	企業局が管理運営する3～5階のオフィス部分について、港湾業務機能を支援する施設として事業者に対して貸付を行っている。
入居室数(全29室中)	26室
入 居 率	89.7%

(2) 保有する土地の貸付事業	
概 要	仙台港周辺地域に所有する土地について、商業施設や流通業務施設等を用途とする事業者に対して貸付を行っている。
貸付面積	136,868.30㎡
貸付件数	9件

(3) 他会計への長期貸付事業	
概 要	水道用水供給事業会計、工業用水道事業会計及び流域下水道事業会計の金利負担軽減を図ることで、事業の円滑な実施と企業経営の安定に寄与するための貸付を行っている。
貸付実績	なし

2 令和7年度の決算概要

(1) 損益計算書

単位：百万円（税抜き）				
地域整備事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
1 営業収益	641	612	29	4.8
(1) 運用資産収益	482	455	27	5.9
(2) 受託工事収益	113	114	△ 1	△ 0.9
(3) その他営業収益	47	43	3	8.0
2 営業費用	397	386	11	2.9
(1) 運用資産管理費	165	163	2	1.3
(2) 受託工事費	113	114	△ 1	△ 0.9
(3) 総係費	64	62	2	3.6
(4) 減価償却費	50	44	7	14.9
(5) 資産減耗費	5	3	1	38.2
A 営業損益(1-2)	244	226	18	8.0
3 営業外収益	16	6	9	149.2
(1) 受取利息及び配当金	15	6	9	160.1
(2) 長期前受金戻入	0	0	0	△ 1.0
(3) 雑収益	0	0	0	△ 70.2
4 営業外費用	0	0	0	11.2
(1) 雑支出	0	0	0	11.2
B 営業外損益(3-4)	16	6	9	151.5
C 経常損益(A+B)	260	232	28	11.9
5 特別利益	0	0	0	皆減
(1) 過年度損益修正益	0	0	0	皆減
6 特別損失	0	0	0	皆減
(1) 過年度損益修正損	0	0	0	皆減
D 特別損益(5-6)	0	0	0	皆減
E 当年度純損益(C+D)	260	232	28	11.9
F 前年度繰越利益剰余(欠損)金	0	0	0	-
G 当年度末処分利益剰余(欠損)金(E+F)	260	232	28	11.9

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

(2) 資本的収支

単位: 百万円(税込み)				
地域整備事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
資本的収入	1,000	0	1,000	皆増
投資有価証券償還金	1,000	0	1,000	皆増
資本的支出	362	370	△ 8	△ 2.1
建設改良費	62	70	△ 8	△ 11.0
投資有価証券	300	300	0	0.0
収支差引	638	△ 370	1,008	△ 272.6

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(3) 貸借対照表

単位: 百万円(税抜き)			
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	10,727	固定負債	0
流動資産	6,812	流動負債	505
(うち現金預金)	(6,439)	繰延収益	4
		負債合計	509
		資本金	16,769
		剰余金	260
		資本合計	17,029
資産合計	17,539	負債・資本合計	17,539

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(4) キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円(税抜き)	
A 業務活動によるキャッシュ・フロー	325
B 投資活動によるキャッシュ・フロー	663
C 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 232
D 資金増減額(A+B+C)	755
E 資金期首残高	5,684
F 資金期末残高(D+E)	6,439

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

3 企業債

- ・ 該当なし

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

Ⅳ 令和7年度宮城県流域下水道事業決算概要について

1 令和7年度の事業概要

(1) 仙塩流域下水道事業	
① 対象市町村	3市2町
② 処理量	年間39,405,986㎡
③ 建設事業	仙塩浄化センター統合監視制御設備改築工事など
(2) 阿武隈川下流流域下水道事業	
① 対象市町村	5市6町
② 処理量	年間33,646,608㎡
③ 建設事業	県南浄化センター統合監視制御設備整備工事など
(3) 鳴瀬川流域下水道事業	
① 対象市町村	1市1町
② 処理量	年間2,429,916㎡
③ 建設事業	鹿島台浄化センター統合監視制御設備改築工事など
(4) 吉田川流域下水道事業	
① 対象市町村	1市2町1村
② 処理量	年間11,352,726㎡
③ 建設事業	大和浄化センター水処理設備コントロールセンタ改築工事など
(5) 北上川下流流域下水道事業	
① 対象市町村	2市
② 処理量	年間7,966,741㎡
③ 建設事業	石巻浄化センター太陽光発電建設工事など
(6) 北上川下流東部流域下水道事業	
① 対象市町村	1市1町
② 処理量	年間4,033,571㎡
③ 建設事業	石巻東部浄化センター1、2系最終沈殿池外耐震補強設計など
(7) 迫川流域下水道事業	
① 対象市町村	2市
② 処理量	年間2,471,925㎡
③ 建設事業	石越浄化センター太陽光発電建設工事など

2 令和7年度の決算概要

(1) 損益計算書

単位：百万円（税抜き）				
流域下水道事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
1 営業収益	1,846	2,292	△ 446	△ 19.5
(1) 管理運営負担金	1,823	2,269	△ 446	△ 19.7
(2) 繰延運営権対価収益	23	23	0	0.0
2 営業費用	9,264	9,192	72	0.8
(1) 管渠費	154	118	35	29.6
(2) ポンプ場費	172	154	18	11.8
(3) 処理場費	1,346	1,224	122	9.9
(4) 総係費	267	251	16	6.4
(5) 減価償却費	7,106	7,070	36	0.5
(6) 資産減耗費	219	374	△ 155	△ 41.4
A 営業損益(1-2)	△ 7,417	△ 6,899	△ 518	7.5
3 営業外収益	7,618	7,877	△ 259	△ 3.3
(1) 受取利息及び配当金	7	2	5	245.8
(2) 他会計補助金	1,273	1,406	△ 133	△ 9.4
(3) 長期前受金戻入	6,312	6,457	△ 145	△ 2.3
(4) 雑収益	26	12	14	117.3
4 営業外費用	169	170	△ 1	△ 0.3
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	150	154	△ 4	△ 2.8
(2) 雑支出	19	15	4	25.0
B 営業外損益(3-4)	7,449	7,708	△ 258	△ 3.3
C 経常損益(A+B)	32	808	△ 776	△ 96.0
5 特別利益	266	117	149	127.3
(1) その他特別利益	266	117	149	127.3
6 特別損失	318	146	172	118.0
(1) その他特別損失	318	146	172	118.0
D 特別損益(5-6)	△ 52	△ 29	△ 23	80.1
E 当年度純損益(C+D)	△ 20	779	△ 799	△ 102.6
F 前年度繰越利益剰余金(欠損)金	0	0	0	-
G その他未処分利益剰余金変動額	413	682	△ 269	△ 39.5
H 当年度未処分利益剰余金(欠損)金(E+F+G)	392	1,461	△ 1,069	△ 73.1

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

(2) 資本的収支

単位: 百万円(税込み)				
流域下水道事業会計	R7	R6	対前年度増減額	対前年度比(%)
資本的収入	8,525	5,353	3,172	59.3
企業債	1,911	1,392	518	37.2
国庫補助金	4,681	2,516	2,165	86.0
工事負担金	1,647	1,408	238	16.9
他会計補助金	286	36	251	701.8
諸収入	0	0	0	皆減
資本的支出	8,918	6,533	2,384	36.5
建設改良費	7,338	5,048	2,289	45.3
企業債償還金	1,580	1,485	95	6.4
収支差引	△ 392	△ 1,181	788	△ 66.8

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(3) 貸借対照表

単位: 百万円(税抜き)			
資産の部		負債・資本の部	
固定資産	122,084	固定負債	11,620
流動資産	7,335	流動負債	3,702
(うち現金預金)	(7,006)	繰延収益	98,595
		負債合計	113,917
		資本金	9,169
		剰余金	6,333
		資本合計	15,502
資産合計	129,419	負債・資本合計	129,419

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

(4) キャッシュ・フロー計算書

単位: 百万円(税抜き)	
A 業務活動によるキャッシュ・フロー	268
B 投資活動によるキャッシュ・フロー	498
C 財務活動によるキャッシュ・フロー	331
D 資金増加額(A+B+C)	1,097
E 資金期首残高	5,909
F 資金期末残高(D+E)	7,006

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

3 企業債

単位: 百万円				
	令和6年度末 現在高	令和7年度増減高		令和7年度末 現在高
		借入額	償還額	
企業債	12,543	1,911	1,580	12,874

(注) 表中の数値については、個々に四捨五入をしている関係上、合計額及び差引額が一致しない場合がある。

令和7年度宮城県公営企業会計決算の概要

V 未処分利益剰余(欠損)金の処理について

1 令和7年度宮城県水道用水供給事業欠損金処理計算書

単位:円

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	146,461,472,625	1,231,036,587	△ 14,702,843
議会の議決による処分額	0	0	0
処分後残高	146,461,472,625	1,231,036,587	(繰越欠損金) △ 14,702,843

2 令和7年度宮城県工業用水道事業欠損金処理計算書

単位:円

	資本金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	7,533,925,311	777,824,832	△ 79,329,288
議会の議決による処分額	0	0	0
処分後残高	7,533,925,311	777,824,832	(繰越欠損金) △ 79,329,288

3 令和7年度宮城県地域整備事業剰余金処分計算書(案)

単位:円

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	16,769,330,336	0	260,021,988
議会の議決による処分 一般会計への納付金納付	0	0	△ 260,021,988
処分後残高	16,769,330,336	0	(繰越利益剰余金) 0

4 令和7年度宮城県流域下水道事業剰余金処分計算書(案)

単位:円

	資本金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	9,168,946,307	4,737,903,119	392,481,331
議会の議決による処分額 資本金への組入	392,481,331 392,481,331	0 0	△ 392,481,331 △ 392,481,331
処分後残高	9,561,427,638	4,737,903,119	(繰越利益剰余金) 0

(注) △表記は、減少又は欠損を示すものである。